



学校だより 12月

令和2年11月30日 横浜市立芹が谷南小学校

本の世界を広げよう

学校長 高木 篤子



休日にまちの書店に立ち寄りました。店内で本を探していると、子どもの本のコーナーから親子で会話をしながら、お気に入りの本を選んでいる様子を目にしました。お子さんが、にこにこしながら本を手にする姿が印象に残っています。

現行の学習指導要領では、自ら進んで読書をし、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養うために国語科学習が読書に結び付くようにすることが求められ、読書に関する指導事項を次のように示しています。

- ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。（第1学年及び第2学年）
- ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。（第3学年及び第4学年）
- ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。（第5学年及び第6学年）

具体例として、2年生では、教科書教材「スイミー」「お手紙」をきっかけに、同じ作者の本や同じ主人公のシリーズを読みました。多くの本を楽しみながら読み、その中からお気に入りの話を紹介し合う活動を通して、読書に親しみました。3年生では、「すがたをかえる大豆」のように、姿を変えて食品になる材料について説明する文章を書きます。そのために、食べ物について書かれた科学読み物を使って調べてまとめる活動を行います。6年生では、「やまなし」を入り口として宮沢賢治の物語へ読みを広げ、自分がとらえた作品の世界を言葉のマップに表現しました。

本校では、子どもたちが本の楽しさを感じてほしい、もっと本を読んでほしいという思いのもと、読み聞かせボランティアの皆様が月2回ほど朝の読み聞かせをしてくださっています。11月には、全校テレビ放送で『365まいにちペンギン』の読み聞かせをしていただきました。装飾ボランティアの皆様は、図書室に行きたくなるような飾りを作ってくださいしています。加えて、学校生活がより楽しくなるように工夫され、芹南ピックでの「ゆずり合いゾーン」の表示をはじめ行事等の飾りも作成していただきました。

読書に興味関心をもつきっかけをつかみ、ご自身の心の中で本の世界を広げていってほしいと願っています。

まちの図書館や書店などで、お気に入りの本を親子で見付けてみませんか。